

## 第1部 総説



戸田市の概要及び年表を記載しています。

## 第2部 環境基本計画及び温暖化への取組

### 市内CO<sub>2</sub>排出量 (令和2年(2020年)度) (本編P.30)

実績値 温室効果ガス平成25年  
(2013年)度比13.9%削減  
(R2年(2020年)度)

目標値 温室効果ガス平成25年  
(2013年)度比10.7%削減  
(R2年(2020年)度)

統計データの関係上、令和2年(2020年)度数値となります。当計画値は令和3年(2021年)に改定された実行計画に基づいております。

### とだ環境ネットワーク (本編P.42～P.47)

#### 環境月間

戸田市役所のロビーにて、  
団体による活動展示会を  
開催しました。



#### とだ環境フェア

令和4年(2022年)11月6日(日)に開催。各団体・企業の活動発表や参加型の体験コーナー、市内学生の環境学習に関する展示・発表を行い、248人が来場。

#### 環境出前講座

講座メニュー数:12講座  
開催実績:3回開催 142人参加

### 省エネ・再エネ設備への補助制度 (本編P.48～P.50)

市では省エネ・再エネ設備を普及させるため、平成17年(2005年)度から補助制度を実施しています。

#### 令和4年(2022年)度補助実績

	機器名	設置数	単価(円)	補助金額(円)	備考	概算CO <sub>2</sub> 削減量(t/年)
市民	太陽光発電	27	30,000/kW	3,651,900	121.73kW(補助分)( 1) 160.48kW(設置)	73.34
	エコキュート	26	40,000	1,040,000		13.78
	エネファーム	24	80,000	1,920,000		36.24
	蓄電池	38	30,000/kWh	5,664,100( 2)	189.10kWh(補助分)( 1) 303.18kWh(設置)	
	HEMS	13	10,000	130,000		1.56
	太陽光・蓄電池 同時設置	21	50,000	1,050,000		
	合計			13,456,000		111.92
事業者	LED照明	44	1,000/個	44,000		0.92
	合計			44,000		0.92

1 太陽光発電と蓄電池には、補助する出力と容量に上限を設けています。

2 予算の上限に達したため、満額補助できなかった申請分を含んでいます。

## 第3部 緑のまちづくりと自然再生



### 苗木の無料配布 (本編P.53)

平成26年度より「とだグリーンウェイブ」を実施し、市民や事業者とともに市内緑化の推進に励みました。令和4年度の結果は以下のとおりです。

参加団体	参加者数	場所提供団体数	植樹本数
16団体	79名	0団体	59本



### 戸田ヶ原自然再生事業 (本編P.56 ~ P.58)

#### サクラソウの生育状況

戸田ヶ原サクラソウ園(旧自然再生エリア第1号地)で20,111株のサクラソウが開花しました。



#### 戸田ヶ原自然再生の普及広報

##### 【パネル展示】

戸田ヶ原について戸田市役所、イオンモール北戸田などでパネル展示を実施しました。



##### 【野の草花講座】

秋の野の草花の観察と、葉っぱを使った「たたき染め」体験を実施しました。



#### 戸田ヶ原自然再生事業実施計画(令和3年3月改訂)

サクラソウなどの野生の草花が彩る湿地プロジェクト  
キツネやカヤネズミが子育てをする草地プロジェクト  
ミドリシジミが舞う林プロジェクト  
カワセミが子育てをする水辺プロジェクト  
人と自然・人と人との交流プロジェクト  
PRの推進



## 第4部 環境(公害)調査と現況



### 大気 (本編P.60～P.64)

光化学オキシダント以外の項目については、環境基準に適合しています。  
なお、光化学オキシダントは、埼玉県内全域で基準を達成できていません。

	二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )	二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )	光化学オキシダント(O <sub>x</sub> )	一酸化炭素(CO)	浮遊粒子状物質(SPM)
砂場局	—		—	—	
早瀬局	—		—		
中町局			×		



### 河川等の水質 (本編P.65～P.74)

#### 健康項目

市内13箇所で測定を実施し、全ての地点で基準に適合しています。

#### 生活環境項目

測定箇所のうち、荒川第一調整池(彩湖)にのみ生活環境項目に係る環境基準が設定されています。夏季に測定した結果を環境基準と比較すると、pH(酸性、アルカリ性の度合いを示す指数)及びCOD(有機物による水質汚濁の指標)の項目が、基準を超過していました。

	pH	DO(mg/L)	COD(mg/L)	SS(mg/L)	大腸菌数(CFU/100mL)
荒川第一調整池	×		×		



### 自動車騒音 (本編P.75～P.76)

一般国道17号、練馬川口線及び新倉蕨線の3路線を対象とし、調査しました。

結果、測定を実施した3路線全てにおいて基準に適合しています。

路線名	要請限度との比較	環境基準との比較
一般国道17号		
練馬川口線		
新倉蕨線		



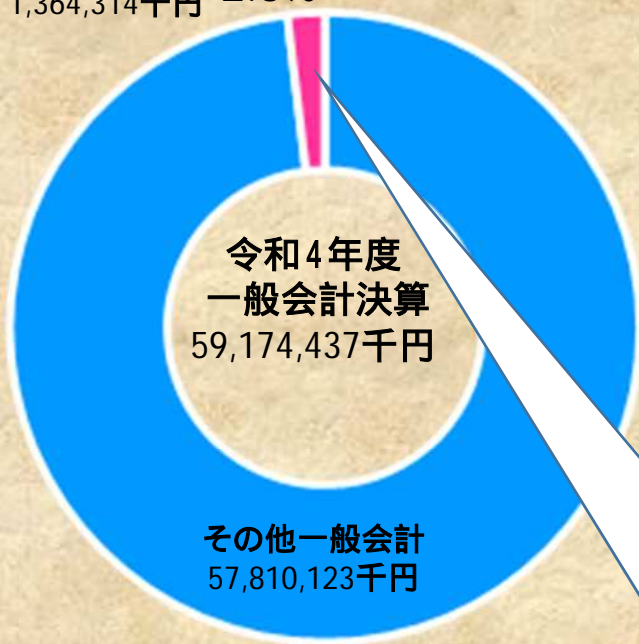
## 第5部 廃棄物処理の現況

### 家庭ごみ処理の経緯と処理費用 (本編P.80)

令和4年度にごみ処理にかかった費用は以下のとおりです。



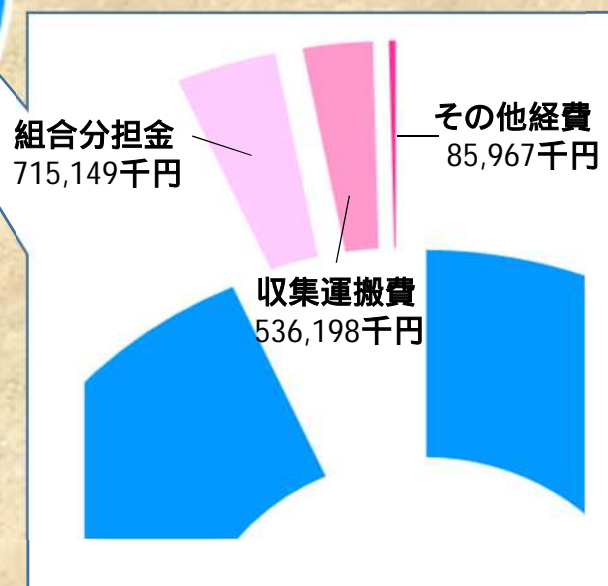
ごみ処理経費  
1,364,314千円 2.3%



- その他一般会計 57,810,123千円
- ごみ処理経費 1,364,314千円

#### ごみ処理経費 内訳

- 組合分担金 715,149千円
- 収集運搬費 563,198千円
- その他経費 85,967千円



### 家庭ごみの排出量 (本編P.26/P.81)

1人1日当たりの家庭ごみ排出量は以下のとおりです。

実績値(令和4年度)

**855g**

目標値(令和7年度)

**680g**